



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30
- ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 渡辺 文夫
- ◆副 会 長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹 事 / 依田 晋一
- ◆クラブ広報・情報委員長 / 清水 泰男

NO. 1264 平成27年2月10日



◆点鐘	渡辺 文夫 会長
◆SAA	矢島 英夫 委員
◆ソング	奉仕の理想

【会長挨拶】 渡辺 文夫 会長

2月10日と云うのに、この所意外に寒い日が続きます。陽射しは強くなって来ましたので、もう一息の辛抱かと思えます。一緒に頑張りたいと思いません。

明日、2月11日は建国記念の日で祭日です。特別な行事は特にありませんので、この休日に日本の歴史を勉強してみる事も面白いかもしれません。日本書紀では、日本国を統一したカムヤマト、イワレビノミコトとは初代天皇になった神武天皇であると書かれています。神武天皇は紀元前 660 年 2 月 11 日に大和の橿原の宮で即位したとされ、そこから 2 月 11 日を「建国記念の日」に定めたと云う説もあります。歴史学上では、神武天皇は実在の人物ではなく「神話」として位置づけられている様です。戦前われわれが子供の頃は「紀元節」として朝、学校の講堂で校長先生のお話を聞いてリンゴやお菓子をもらったことが思い出されます。しかし、戦後 GHQ は「紀元節」を認めれば天皇を中心とする日本人の団結力が高まり再び米国の脅威となるのではないかと警戒して「紀元節」は廃止されました。

しかし、その後、NHK などのアンケート調査により全国民の 80 パーセント以上の方が「建国記念の日」を望んでいることが分かり、1966 年に「建国記念の日」の提案が承認され、翌年 1967 年から適用され現在に至っています。

本日のプログラムは工藤泰一会員の自己小伝です。大変ご苦労様です。よろしくお願い致します。以上会長挨拶です。ありがとうございました。

【幹事報告】 依田 晋一 幹事

1. ロータリーの友事務所より 2015~2016 年度版「ロータリー手帳」注文について
1 部 648 円 締切 2 月 24 日
 2. ロータリー囲碁同好会より「日韓台対抗戦国際囲碁大会」について
日時 5 月 16 日 (土)
会場 東京・市ヶ谷日本棋院 2 階大ホール
 3. 望月宗敬ガバナーエレクトより「2015~2016 年度地区研修・協議会」開催について事前案内
日 時 4 月 5 日 (日)
場 所 松本大学
- ・例会終了後、現及び次期合同理事会

【本日の配布物】

週報 1263 号、ロータリーの友 2 月号

◆委員会報告

- ・クラブ広報・情報委員会 清水 泰男委員長
ロータリーの友2月号紹介

◆ラッキー賞

NO. 6 美齊津 明 君

次週のプログラム :

2月17日 「IM・会員セミナー報告」

次々週のプログラム:

2月24日 「世界理解月間」

ロータリー財団・米山記念奨学会委員会
掛川興太郎委員長

◆ニコBOX 中河 邦忠 委員

青松 英和君	誕生祝、有難うございました。
美齊津 明君	本日の席番の6は大変好きな数字です。青松さん、誕生日おめでとございます。大雪が降らないよう、祈ります。
小山 盛夫君	ボックスのまん前に座りますと入れないでいる事、耐え難い事、仕方のない事です。
中河 邦忠君	お役目で

前田 博志君	工藤さん、楽しみにしています。
渡辺 頼雄君	工藤会員、自己小伝楽しみに聞かせて頂きます。
神津 恭通君	中河さん、受付とボックス担当ご苦労様です。
小林 秋生君	恒例の親睦そば会を3月17日に開催します。大勢のご参加をお待ち致します。

◆【出席報告】 中河 邦忠 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 2月10日	24	22	事前1名	2	91.30%
前々回 1月27日	24	19	事後0名	5	78.26%

【本日のプログラム】 「自己小伝」 工藤 泰一 会員



私は、昭和40年7月31日に大町市で誕生しました。大町市は、北アルプスの麓で、石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」の舞台にもなった黒四ダムの長野県側の玄関口です。黒四ダム建設当時は、町に建設作業者が溢れ、表通りでは、朝まで飲酒した建設作業者の声が途切れることは無かったぐらい賑やかだったと聞いていますが、私が生まれたときは、すでに黒四ダムは完成した後で、黒四ダム景気も一段落してかつての賑わいは無くなっていました。

家族は、祖父母、父母と弟の6人で、父親は、婿入りする前から勤務していた隣町である北安曇郡池田町の工場に勤務しており、母親は、祖父が営んでいたミシン店を手伝って毎日軽自動車ですぐ客先を回ってセールスや修理等のアフターサービスを行っていたため、家事は主に祖母が担当していました。父母はそれぞれ仕事が忙しかったため、学校から帰った私や弟の面倒はいつも祖父母が見てくれました。また、兼業農業でもあったことから、春と秋には家族総出で早朝から夕暮れまで田植えや稲刈りを行っていました。

大町市内の小、中、高校を卒業して、東京の私立大学に進学し、家族の意向もあってリターン就職をすることとなり、縁あって昭和63年4月、当時の長野相互銀行に入行しました。長野相互銀行は、平成元年に普通銀行に転換したため、私と私の同期約100人は相互銀行最後の新入社員となりました。長野相互銀行入行後、白馬支店勤務を命ぜられ毎日自宅から約30分かけて通勤しました。当時の白馬は、スキースタンスの真ただ中で、また、オリンピック競技開催地として、スキーシーズンの休日は大町市から数キロにも及ぶ渋滞が発生し、旅館ホテルの増改築ラッシュが続いて非常に活気がありました。銀行入行後の最初の1年は、融資窓口で融資の受付をしていましたが、設備資金の実行がピークを迎える12月初めは、融資実行を何とかスキーシーズン前ホテルの開業に間に合わせるように連日午前1時ごろまで残業をした記憶がありました。

白馬支店から駒ヶ根支店、篠ノ井支店、茅野東支店と転勤になり、融資課長として岡谷北支店に異動し、その後1年間の東京での研修のあと、長野支店、本店営業部に勤務し、次長として伊那支店に1年間在籍しました。その間1男2女を授かり、支店長としては、初任店である上諏訪支店に2年半勤務後、審査部、白馬支店、上田市の三好町支店を経て昨年10月小諸支店に異動となり、ご縁により小諸浅間ロータリークラブに参加させていただくこととなりました。

先輩方が大勢おられる小諸浅間ロータリークラブに参加できることは大変光栄なことであり、会員の皆様には今後とも大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。